



学校法人志賀学園  
久之浜こども園  
令和4年5月31日

アジサイの葉に雨のしずくがキラリとひかり、緑がいつそう鮮やかに映える季節になりました。「先生オタマジャクシに足がはえたよ！」とビオトープから走ってきて教えてくれるT君。クモの巣についた雨のしずくを見つけ「きれいだねー！」とニコリ笑顔を見せるSさん。季節は確実に春から初夏に移り変わろうとしています。

6月1日は衣替えです。園でも夏服、夏の麦わら帽子に衣替えをします。この衣替えの習慣は平安時代の宮中行事から始まりました。中国の風習に倣って旧暦の4月1日と10月1日に夏服と冬服を着替えると定め、鎌倉時代になると衣服だけではなく調度品まで取替えるようになりました。江戸時代になると、着物の種類が増え、武家の制服は、旧暦の4月1日から5月4日までが袷（あわせ＝裏地付きの着物）、5月5日から8月末日までが帷子（かたびら＝裏地なしのひとえ仕立ての着物）、9月1日から9月8日が袷、9月9日から翌年3月末日までが綿入れ（表布と裏布の間に綿を入れた着物）とされ、一般庶民もこれに従ったそうです。明治時代になると、政府は役人、軍人、警察官の制服に定め夏服と冬服の衣替えの時期も制定しました。明治6年より新暦（太陽暦）が採用され、太陽暦の6月1日から9月30日が夏服、10月1日から翌年5月31日が冬服と定められたそうで、これが次第に一般の人にも定着し、官公庁・企業・学校が毎年6月1日と10月1日に衣替えを行うようになったということです。衣替えは四季のある日本だからこそその古くから伝わる文化ですね。

今年の夏至は6月21日です。夏至は二十四節期の一つです。北半球ではこの日が一年のうちで最も昼の時間が長くなります。また南半球ではこの日に昼の時間が最も短くなります。日本では、この日を境に、昼間の時間が少しずつ短くなっていきます。夏至は冬至に比べると、昼が5時間近くも長いそうです。少しずつ変化する光や影などに目を向けてみるのもいいですね。

さて、今もなおコロナ感染症対策の中での保育をしておりますが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今後も今おかれている状況に対してしっかりと対策を行い、子どもたちが楽しく過ごせるよう環境を整えていこうと思います。併せて保護者の皆様の子どもに対する毎朝の健康観察も引き続きよろしく願いいたします。